



市長記者会見資料
令和元年10月31日
教育委員会教育総務課

慶應義塾大学SFC研究所との連携協力による調査研究事業の実施

ICT教育をリードする遠隔教育を市内全中学校12校において実施します

高岡市では、昨年度に引き続き、慶應義塾大学SFC研究所が実施する総務省公募事業「パブリック・クラウド活用による教育ICT環境整備に関する調査研究」に協力し、市内全中学校12校において遠隔教育の本格的な導入に向けた実証研究を行うことになりました。

昨年度は、伏木中学校1校で実証研究を行い公衆網を活用した遠隔授業の安定性、安全性等を実証するとともに、授業内容である「論理コミュニケーション」の技能・能力の向上においても成果が確かめられました。

今後は、その成果を踏まえ、全国での本格実施に向けた先進的な取り組みとして、市内全12中学校に実施校を拡大して実証研究を行うものです。

(1) 実施期間

令和元年11月～令和2年3月【初回授業 11月6日（国吉中学校）】

(2) 事業概要

全国に先駆け、公衆網とインターネットを介したパブリック・クラウドを活用した教育ICT環境として、市内全12中学校に、先生と生徒が同時双方向に会話できる遠隔教育システムを設置します。今年度、40クラス約1,300名、延べ約350回予定の「論理コミュニケーション」に関する遠隔教育を行い、市内中学生の「論述＝論理的に書く力」の育成と設置したシステムの社会受容性（経済的・技術的）やセキュリティに関する検証を行います。

なお、遠隔教育は、慶應義塾大学SFC研究所の上席研究員及び研究員が実施します。

(3) 事業目的

- ① 一般家庭と同じインターネットサービスによるネットワーク、インターネット上のパブリック・クラウド上のサービスを用いた遠隔教育システムの実現
- ② これからの時代に一層求められる論理コミュニケーション能力、論述力向上のための、ICTを活用した質の高い遠隔教育の実現

担当：教育総務課 施設管理・学校統合係
TEL20-1446（内線 2695）